

# 銀河レポート401

No. 44  
1月号

発行日：平成31年1月2日  
編集&発行：四日市市立博物館  
プラネタリアム  
電話：059-355-2700  
HP：http://www.city.yokkaichi.  
mie.jp/museum/museum.html

## 1月の星空

### オリオン座

冬の星座で一番目立つのはオリオン座でしょう。中央がくびれた四角形の中に三つの星が少し斜めに並んでいます。明るい1等星と2等星で形づくられているので、街の空でも見つけることができます。四角形の左上で赤く輝く星がベテルギウス、右下で青白く輝く星がリゲルです。また、中央の三つの星は「三つ星」といい、オリオンのベルトにあたります。オリオンとはギリシャ神話に登場する狩人です。月の女神アルテミスがオリオンに恋をしましたが、アルテミスは兄アポロンにだまされて水浴びをしていたオリオンを自分の矢で射抜いてしまいました。悲しみに暮れるアルテミスをかわいそうに思った大神ゼウスが、オリオンを星座にして月の通り道に置いてあげたそうです。

### 冬の大きな三角

冬の夜空の空高くに位置する五角形のぎょしゃ座の南下方にオリオン座が見つかります。そして、そのオリオン座の「三つ星」を結んで下に伸ばすと、ひときわ明るく輝く星が目につきます。おおいぬ座のシリウスです。シリウスは夜空の星の中で一番明るい恒星です。このシリウスとその東上方で輝くこいぬ座のプロキオン、そして、オリオン座のベテルギウスを結んだ三角が「冬の大きな三角」です。狩人オリオンと、つき従う二匹の犬たちが三角形に並んでいるようにも見えます。



1月15日21時の星図

星図：ステラナビゲータ10/(株)アストローツ

### 冬の星座の和名

日本では、オリオン座を古来の楽器の鼓に見立てて「つづみ星」と呼んでいました。そのオリオン座の「三つ星」を結んで上に伸ばすと、おうし座のアルデバランとその先にすばるが見つかります。このアルデバランを含むV字の星の並びをお寺の釣鐘に見立てて「つりがね星」、そして、すばるは形が羽子板に似ていることから「はごいた星」と呼んでいました。何となく季節感を感じる名前です。

### 変光星 ミラとアルゴル

冬の夜空の恒星の中には時間とともに明るさが変化する恒星があります。そんな星を「変光星」と言います。代表的な恒星がペルセウス座のアルゴルとくじら座のミラです。アルゴルは約3日を周期として2等から3等まで変光し、ミラは約330日という長い周期で2等から10等まで大きく変光します(1月は3等)。アルゴルは、二つの星がお互いのまわりを回りあっている星(連星)で、片方の星がもう片方の星の前を横切って隠すために明るさが変わります。それに対してミラは、星自身が膨張したり収縮したりして明るさが変わる星です。その他に、星全体が爆発して明るさが変わるものもあり、「重力波」を発生させることで有名な「超新星爆発」もそのひとつです。

## 博物館主催観望会 報告

### 「ふたご座流星群と冬の星空観望会」

12月14日(金)に、伊坂ダムサイクルパークで、流星群観察を中心とした観望会を実施しました。本格的な冬の寒さの中、防寒対策をしっかりとした観望会でした。始めに星空クイズを楽しみ、流星についての説明を聞いたのち、流星群と冬の星空を観察しました。流星が見られると歓声が上がリ、冬の星空を存分に楽しむことができました。



## 12月のガリレオ教室 報告

### 〈日食のひみつ〉

12月9日(日)にガリレオ教室を実施しました。日本で、1月6日に部分日食が見られる機会をとらえて、日食のしくみや特徴について、映像等を見て楽しく学習しました。また、日食メガネを作って、メガネを使っただけの観察の仕方や注意事項等についても学習しました。



## 1月のガリレオ教室

### 〈冬の星座を楽しもう ～プレアデス星団の話～〉

冬の星座「おうし座」の中で宝石のように輝くプレアデス星団(すばる)について、神話を交えながら、天文ボランティアがわかりやすく解説します。

〈日時〉  
1月13日(日)  
①11時から11時20分  
②14時から14時20分  
〈場所〉  
5階コズミックラウンジ



## ★★観望会★★





### 《博物館主催きらら号観望会》

日時：①1月6日(日) 9時から11時30分 「部分日食を見よう」  
②1月26日(土) 18時から19時30分 「火星とすばるを見よう」  
場所：博物館前市民公園

### 《天文ボランティア主催観望会》

日時：1月12日(土) 17時30分から19時30分 「月や火星を観察しよう」  
場所：伊坂ダムサイクルパーク管理事務所付近  
※天候不良時は中止です。  
※当日の自由参加・無料です。  
※天文ボランティア主催観望会ではきらら号は出動しません。

## 1月の月

6日  新月  
14日  上弦  
21日  満月  
28日  下弦

## 編集後記

新年を迎え、カレンダーが新しくなりました。枕草子の「星はすばる、彦星、・・・」との表記から、今も昔も変わらぬ星空の姿を感じます。しかし、約一万三千年後には、北極星の位置に織姫星(ベカ)がやってくるのだと思うと、変化する星空の姿を想像します。時間の尺度をどのように設定するかによって宇宙のとらえ方は様々に変化するものですね。